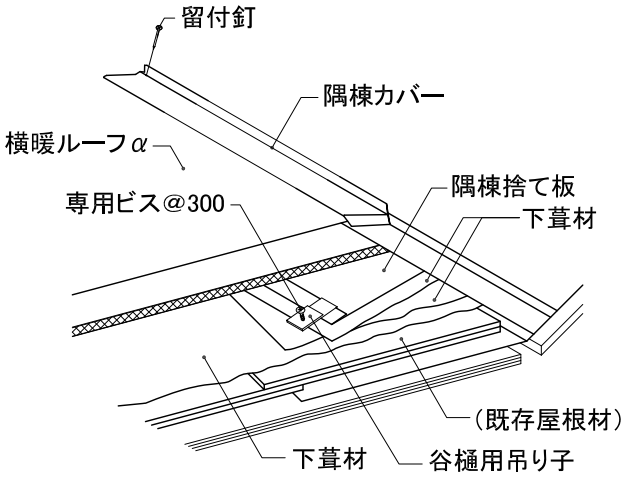
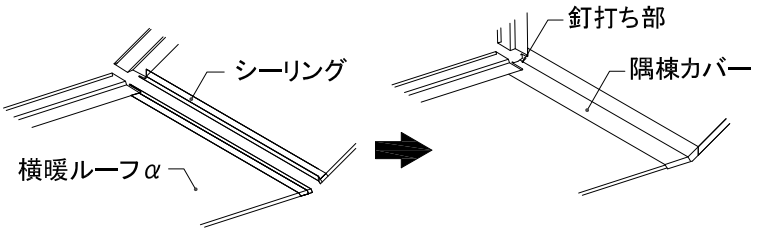
横暖ルーフα	工法	既存屋根材
	重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

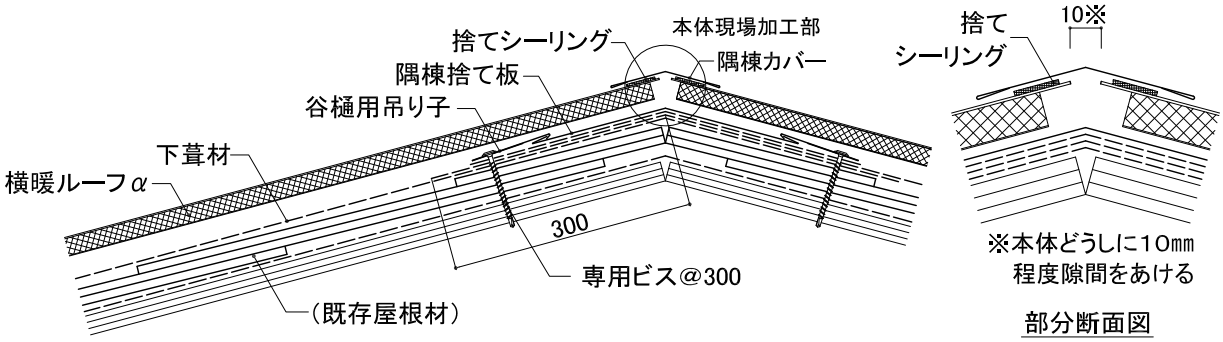
7）隅棟部　②隅棟カバー（隅棟カバー急勾配用）

●既存屋根材に、下葺材を張ります。
●隅棟捨て板は隅棟部に谷樋用吊り子を使用し、専用ビス（ステンレスドリスビスφ４．４㎜×５５㎜）を用いて３００㎜以下の間隔で留め付け、図のように加工した横暖ルーフα本体を施工します。本体施工の際は、隅棟捨て板を避けて施工します。
●横暖ルーフα本体の切断部から約１０㎜程度の幅でシーリングを施工します。
●隅棟カバーは横暖ルーフα本体の接合部へ差し込み、釘留めします。
●屋根の勾配が2寸5分勾配以上3寸5分勾配未満の場合は隅棟カバーを使用し、3寸5分勾配以上の場合は5寸勾配未満は隅棟カバー急勾配用を使用します。



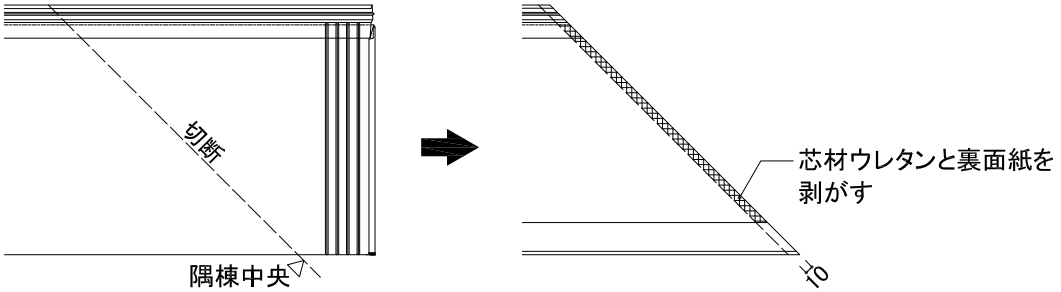
■隅棟カバーの取り付け
①本体切断部から１０㎜程度に捨てシーリングを施工します。
②隅棟カバーを取り付け、釘打ち部を長さ３２㎜以上のステンレススクリュー釘で固定します。





部分断面図

■施工ポイント・現場加工図
●横暖ルーフα本体の隅棟部分は図のように加工します。



①隅棟カバー中央部の位置で切断します。

②端部から１０㎜の位置まで芯材ウレタンと裏面紙を剥がします。
※折り曲げ部の詳細は前述の「折り曲げ部詳細図」を参考にしてください。